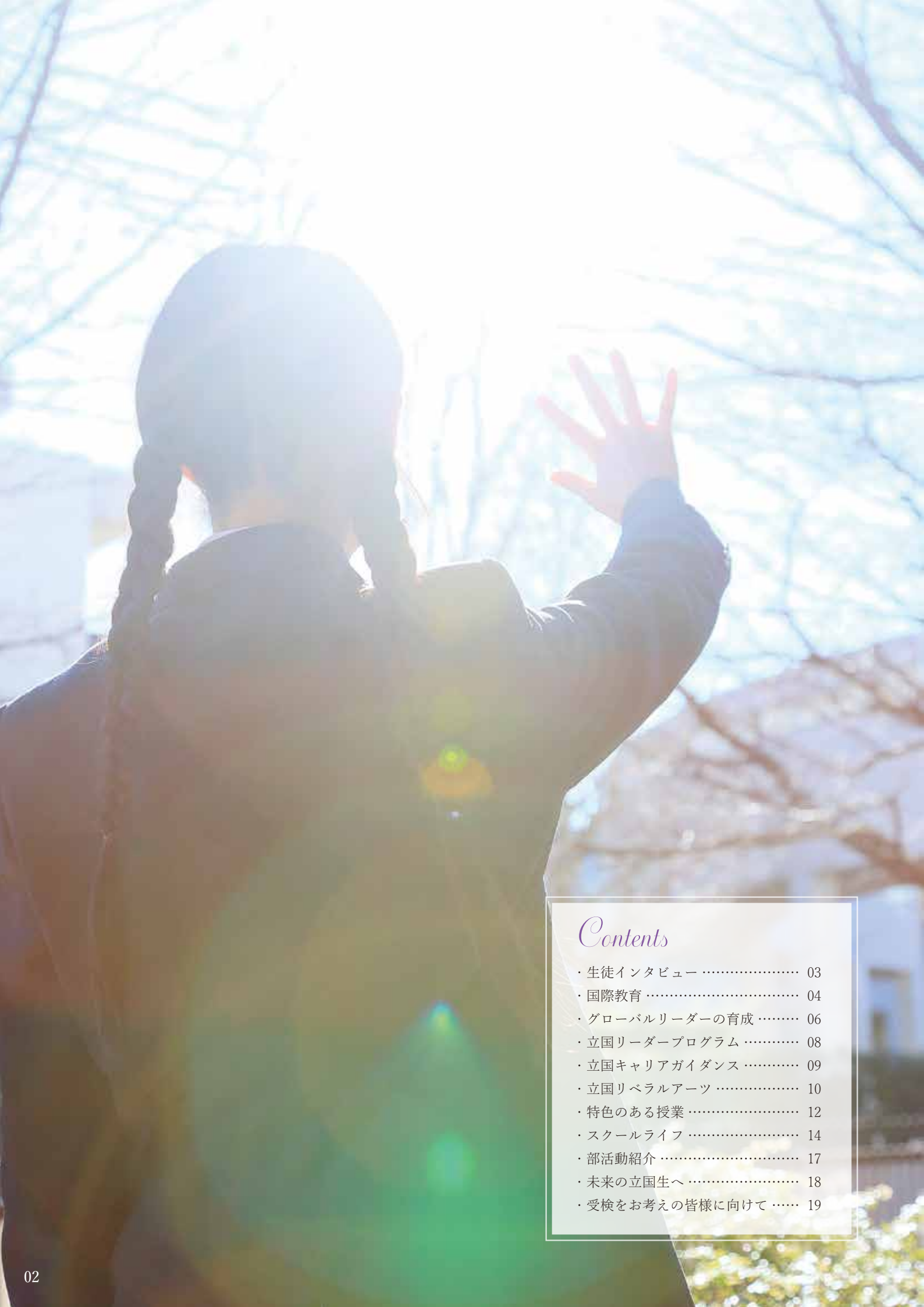




2027
**TACHIKAWA
KOKUSAI**

Think Globally, Act Locally



Contents

- ・生徒インタビュー 03
- ・国際教育 04
- ・グローバルリーダーの育成 06
- ・立国リーダープログラム 08
- ・立国キャリアガイダンス 09
- ・立国リベラルアーツ 10
- ・特色のある授業 12
- ・スクールライフ 14
- ・部活動紹介 17
- ・未来の立国生へ 18
- ・受検をお考えの皆様に向けて 19

生徒インタビュー



多様な背景を持つ仲間と学ぶ立国の魅力

教員: まず、立国にはいろんな背景をもった子がいますよね。だいたい1学年に1クラス分くらいの人数は帰国生がいるんだけど、それを実感することってありますか？

生徒A: やっぱり一番実感するのは英語の授業ですね。帰国生の子たちがどうやって授業を受けてるのか見ると、隣の人と英語で喋っているんです。前期生の時は γ と β でクラスが分かれていたのですが、後期生になって一緒に授業を受けるようになってからより実感するようになりました。日常会話も英語で喋っている子たちがいるので、本当にすごいなって感じます。

教員: 1年生でも普段英語で話している人はいるかな？

生徒D: まさに自分ですね。

教員: そうなんだ。どういう時に英語で喋るの？

生徒D: 英会話を忘れてくれないときに話します。

生徒C: 私は授業でアルファベットの用語が出てきたときに実感します。数学で体積のVはVolumeだとか、地理でEEZはExclusive Economic Zoneじゃないか、みたいな推測がぱっと出てくるからすごいなって思います。

教員: 帰国生から見て実感することはある？

生徒D: 帰国生には英語以外にも、ドイツ語や中国語が話せる人たちがいるので、「〇〇語でこれは何て言うの？」って聞き合って、互いの言葉を分かり合えた瞬間に、実感します。

英語授業とALTの存在

教員: 立国はALTが持つ授業が多いよね。1年生は週5コマのうち2コマがALTの授業ですが、ALTの授業が多いのはどうですか？

生徒A: ネイティブの先生に実際に喋りかける機会が増えますし、伝わった時の達成感がやっぱり強いです。指示も全部英語なので、初めはALTが何を言ってるのかわからなかったのですが、回数を重ねていくうちに言っている内容がわかるようになってきて、英語を話したり、英語を聞き取ったりの自信は強くなったのかなと思います。

生徒B: 私は普段からリスニングを重視しているので、ALTの授業が多いと聞く力が鍛えられてうれしいです。毎回授業後に、1時間の中でどれくらいネイティブの話聞き取れたかなって結構考えるようになりました。

生徒C: 質問する時、ALTとは全部英語で会話しないといけないので、なんとかして伝える経験が、自分の中でいい経験になっています。

生徒D: γ クラスは週4回ALTの授業です。もともと英語を話せる人が集まるクラスなので、リスニング力を鍛えるというよりは、大学受験まで英語の感覚を忘れないことを目指していますね。

留学生との交流で広がる世界

教員: 今年度ミャンマーや青島の留学生を受け入れたけれど、留学生との関わりがあったら教えてください。

生徒D: 国際広報交流委員会として両方の留学生と会いましたが、青島の留学生は隣の席で一緒に授業を受けたので、特に思い出深いです。授業内容を英語で通訳したんですが、その生徒は英語あまり得意じゃなかったんで、タイの学校で学んだ、知っている限りの中国語で伝えました。休み時間もたくさん人が集まって、ずっと話が絶えませんでした。

生徒C: 私の後ろの席に留学生が座っていたので、後ろからずっと英語が聞こえてきて、楽しかったです。

英語イベントで挑戦する力

教員: 立国だとTGGや英語合宿、英語劇、海外研修旅行など、英語に関する行事がたくさんあるけど、頑張ったことや印象に残っていることはありますか？

生徒A: 英語発表会の選考に残った時、ALTの先生に発音やイントネーション、抑揚を一对一で教えてもらえる機会があったのですが、その時まで2年生で、英語で上手くコミュニケーションが取れませんでした。 γ クラスの子に助けをもらいながらALTとやり取りをして、自分の家でも何回も練習して、その結果、賞もいただくことができました。

生徒C: 私は英語発表会で暗しようした内容を今でも覚えていて、お風呂に入った時とかに語んじたりします。

生徒D: 私は発表会でセミファイナルに選ばれたのですが、当日台本を半分くらい忘れてしまったことが悔しくて、MCとして参加しました。1、2、3年生、400人くらいの前で英語を話すのは初めてだったので、すごく緊張しましたね。

教員: 立国を選んだ理由は？

生徒C: 英語に興味があったのですが、英語以外にも熱心に取り組んでいると説明会で聞いたので、英語が強い学校の中でも、全部欲張って頑張れるところがいいなと思って受検しました。

生徒D: 受検しようって思った時はまだ海外に住んでいたんで、一時帰国した時に見学させてもらえる学校って貴重だったんですよ。帰国枠もありましたし、見学した際に部活で走ってる先輩方を見て、来年ここに居る自分が想像できたので受検しました。

これからの目標と将来の夢

生徒C: 帰国生ではありませんが、いつか英語の γ クラスに入りたいです。

生徒D: 小学校から国語を学んできた人たちにも負けないように、日本語や漢字を勉強していきたいです。

生徒B: 大学入学までに漢検と英検の一級を取りたいです。大学で数学科に入って数学を学びながら、数検の1級も取りたいです。

生徒A: 私は自分自身が物事を中心に立つよりも、それをサポートしたい、という思いがあるので、薬剤師など、自分のコミュニケーション能力を活かした職に就きたいです。

生徒D: 海外生活の経験から、言語の壁を実感しているので、そのハードルを下げるために言語学習アプリを開発したいと思っています。

受検生へのメッセージ

生徒A: 後半受検勉強がしんどくなってきた時は、立国のパンフレットを見たり、制服を着て通っている自分を思い浮かべて勉強するのが一番モチベーション維持につながったと思っています。

生徒B: 立国に入ってからいろんなことがあるというのを楽しみに思っていてほしいです。

生徒D: 勉強ばかりしてないで、息抜きも大切にしてほしいです。最後は「自分ではできる」と信じるのが大切だと思います。

生徒C: 最後に自分に合格を持ってきてくれるのは、自分の立国に受かりたいっていう心だと思います。

※生徒ABは後期生、CDは前期生

※ALT=外国人指導者



国際教育 Global Education

国際社会に貢献できるリーダーの育成を目指す



国際教育スケジュール

※世界情勢にあわせて変更の可能性もあります

4月

April

- 日本語支援開始

5月

May

6月

June

7月

July

- 東京グローバルフレンドシッププログラム受け入れ

8月

August

- 次世代リーダー育成道場Bコース出発(翌年6月帰国)

9月

September

- 国際交流セミナー
- スペイン語同好会活動開始(3月までに10回程度)

立川国際の国際教育

本校の国際教育は、スクールミッションである“Think Globally, Act Locally”のもと、国際社会に貢献できるリーダーの育成を目指しています。世界の多様な価値観を理解し、異文化交流を深めることで、自らの視野を広げ、社会に積極的に貢献できる力を養います。そのために、私たちは「受け入れ」「送り出し」「共有」の3つの柱を大切にしています。

受け入れ

多様な文化に触れる機会

本校では、通常の学校生活の中でも海外と繋がる機会がたくさんあります。海外からの短期留学生の受け入れや、海外の学校とのオンラインでの交流等の「受け入れ」プログラムの充実が、異なる言語や文化を持つ仲間と共に学び、互いに刺激を受けながら成長できる環境を実現しているのです。

東京都の留学生受け入れ事業「東京グローバルフレンドシッププログラム」では、希望する本校生徒の家庭での約1週間のホームステイも実施しており、より深い異文化交流を体験することができます。

「受け入れ」の大切なプログラムの一つとして、帰国生等への日本語支援も実施しています。中学に入学するまで海外で過ごしてきた生徒に対して、日本語のサポートだけでなく、日本の学校生活を安心して送っていかれるように、該当する生徒一人一人に寄り添いながらサポートを行っています。

送り出し

世界へ挑戦するチャンス

希望する生徒には、1週間程度の短期の海外研修や、東京都の留学事業「次世代リーダー育成道場」といった長期留学のチャンスも用意されています。5年生では学年全員でオーストラリアに約1週間の研修旅行に行きます。

本校独自の海外研修としては、「カンボジア・ボランティア巡検」、「シンガポールグローバルリーダー研修」などの特別プログラムを実施しています。希望する生徒は、これらの研修を通じて、実際に海外で異文化理解を深めたり、グローバルな環境で主体的に学ぶ力を養うことができます。いずれの研修も事前学習、現地での研修、事後学習、成果還元という長期に渡るサイクルに則って行います。

ドイツ語、フランス語、中国語などの第二外国語の学習(希望者のみ)、スペイン語同好会、海外大学進学支援など、グローバル社会で生きていく上で役立つプログラムは他にもたくさんあります。

共有

学びを広げ、つなげる

本校の国際教育は、各教科や各分掌とも連携し、多岐に渡って行われています。留学や海外研修で得た経験を他の生徒とも共有し、学校全体の学びへとつなげる場を設けています。生徒自身の伝える力やリーダーシップも鍛えられていきます。

「国際交流セミナー」では、海外研修等で学んだ成果を全校生徒の前で発表し、研修で得た気付きや視点を学校全体で共有します。国際交流・広報委員の生徒を中心とした附属小学校での絵本読み聞かせボランティア活動では、国際理解や言語学習の楽しさを小学生に伝えています。

こうした活動を通して、中高生が小学生の「ロールモデル」となることができるのが、小中高一貫教育校としての本校の大きな特色です。先輩が後輩へ学びを伝え、国際的な視点を共有することで、より一層深い学びの連鎖が生まれています。

生徒とALT 英語インタビュー

teacher: Hello. I'll ask you a few questions about Tachikawa Kokusai Secondary Education School (Tachikoku) as a non-returnee student. First, How does our school compare to typical Japanese schools? Are there many international students?

student: I think we have many international students. This allows me to learn about other cultures and discuss topics related to foreign countries. However, I don't feel that having students from different backgrounds changes how classes or clubs work, but maybe I just don't realize it.

teacher: How are ALT classes compared to those with only Japanese teachers?

student: I think the advantage is that we get to practice English more, especially speaking, which is difficult in typical schools because we have less time for it. So these classes give me a good chance to improve my English skills.

teacher: Did your expectations of the English classes change after enrolling?

student: The classes are suitable for students who have never been to other countries as well as for those who have.

teacher: Are classes still challenging for you?

student: Yes, the beta-class at the intermediate level was not very challenging for me. But when I moved into the advanced-level gamma class, it became much harder, and I struggled at first.

teacher: Yeah, it is a big change, okay, very good. My last question about classes: Is it challenging to be in the gamma class as a non-returnee student? What is your main focus as a non-returnee?

student: I'm focusing on improving my listening skills. It's difficult to take the time to listen to English by native speakers.

teacher: Why did you choose Tachikoku?

student: Tachikoku was a little bit near my house, and I always thought I would be able to improve my English to a high level in this school.

teacher: After three years at Tachikoku, have you met your English goals?

student: Grammar class was very challenging for me. But, like, thanks to grammar class, I think I have improved my English skills in many ways, such as speaking, listening, and writing essays.

teacher: Do you have a message for any incoming students?

student: I think studying isn't easy to keep up with for long, but motivation is key to improving your skills, including English or something like that.

teacher: Thank you.



3年
池田 雄志

外国人指導者
Kayleigh Brown

10月
October

11月
November

12月
December

1月
January

2月
February

3月
March

- 国際教養講座
- 海外大学進学基礎講座
- 海外大学進学体験講座
- 東京グローバルフレンドシッププログラム受け入れ

- 次世代リーダー育成道場Aコース出発(翌年11月帰国)

2025年度はAコース・Bコース合わせて10名が次世代リーダーに選ばれました。

- 1週間程度の希望制海外研修

I'm glad that you are reading this pamphlet. Today, I will introduce the international interaction at Tachikoku.

First, we have two types of English classes: Gamma (advanced) and Beta (intermediate). They both have 5 English slots per week. For gamma students, we have 4 lessons with ALT teachers, focusing on speaking, reading, and writing. Additionally, we have a lesson with a Japanese teacher, primarily focusing on grammar. For speaking, we watch TED Talks and discuss the topics among the students. After the discussion, we make presentations to the members. For reading, we read one book per term and discuss the content. After these lessons, we write an essay about it. For writing,

we learn techniques for writing essays professionally; therefore, we need to write 3-4 essays on different topics in a term. In these lessons, we can't use much Japanese because the teachers don't understand. It makes us feel as if we were studying abroad. All the teachers are friendly and amazing, so time really flies. I'm sure you will not want to leave the class! These lessons motivate us to use English not only in class but also with our friends outside class. For example, I only talk in English with other returned students.

Having these environments allows us to maintain our English skills and have a wonderful time with friends. Let's join Tachikoku and have this wonderful experience together!



1年γクラス
高家 要人

Voice



1年βクラス
鈴木 美羽

立川国際では、探究学習や募金活動、留学生の受け入れなど海外のことに目を向けて考える機会がたくさんあり、国際教育に力を入れていると感じています。授業ではレベル別にわかりやすく学ぶことができ、speaking・writingのテストが充実しているため、不安があっても短期間で英語に自信をもつことができました。日常生活でも言葉や文化の違いを超えて帰国生と

切磋琢磨しながら学力を上げていくことができます。英語が日常的に使われている環境はチャンスです。立国で国際人として成長し、視野を広げてみませんか。

Voice



グローバルリーダーの育成

国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する



教育目標

国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する

Tachikoku Grand Design

Road to Global Citizens ~ Think Globally, Act Locally ~

立志の精神

国際社会に生きていく人としての自覚をもち、自ら志を立て、未来を切り開いていく力を育成する。

Ambition

Resilience

教育理念

感動の共有

学校教育のあらゆる場において、生徒の主体性を重んじ、達成感、連帯感を育成する。

Team Working

共生への行動

国際社会にあって、自己の考えを明確にもち表現できる能力を養うとともに異なる文化を理解し、尊重する態度を育成する。

Global Contribution

国際の方向性①

グローバルな日常

- ◆ Tokyo Metropolitan Global Education Network School Premier20指定校
- ◆ 東京体験スクール実施校
- ◆ 海外姉妹校との交流
- ◆ 留学生（高校生・大学生）との交流
- ◆ 自宅がホームステイ（希望制）先に
- ◆ 国際交流広報委員会による国際交流セミナー

国際の方向性②

確かな英語力

- ◆ 英語の授業数の増加・オンライン英会話
- ◆ 英語発表会（Speech、Discussion）、英語合宿
- ◆ 充実したネイティブ講師陣
- ◆ 大学入試対応英語力習得支援プログラム CEFR・B2を目指す

国際の方向性③

高みへチャレンジ

- ◆ 次世代リーダー育成道場
- ◆ 立国独自の海外研修プログラム
- ◆ トビタテ！留学JAPANプログラム
- ◆ イングリッシュ・サマー・セミナー
- ◆ 第二外国語講座（仏語・独語・中国語）



「日常」から養える国際感覚と多様性



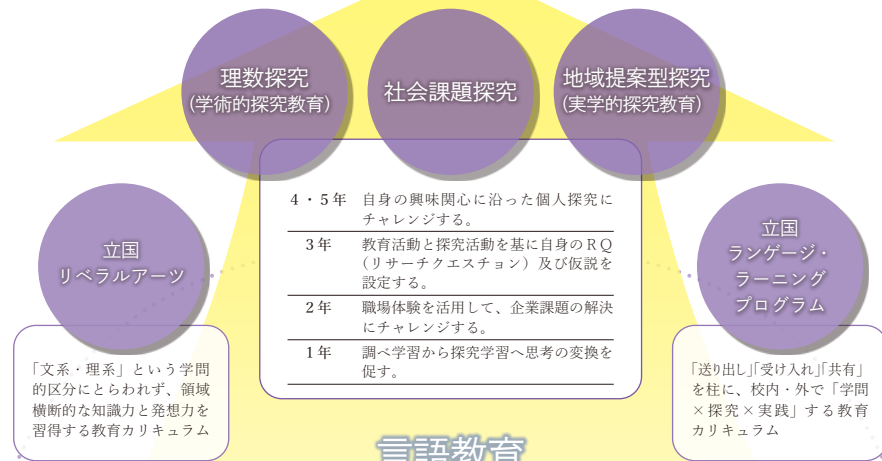


立国リーダープログラム

「総合的な学習の時間」と「総合的な探究の時間」を中心とした6年間の探究プログラムを通じて、国際的なリーダーになるための土台を形成

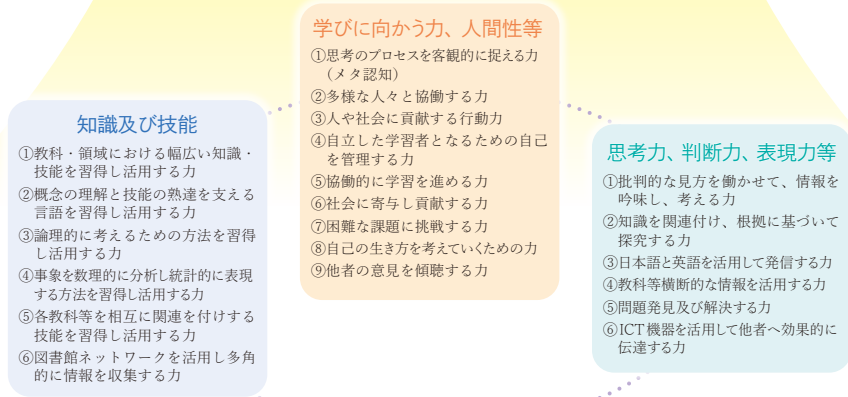


立国 GRAND DESIGN



言語教育

(英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・中国語)



教科活動

**グローバルに考える
キャリア教育・進路指導**

グローバル
地球規模の視野と地域の
視点で考え行動すること

学校生活

※変更の可能性があります

立国キャリアガイダンス

「行ける大学ではなく、行きたい大学を目指す！」



フェーズ	BUILD		CHALLENGE		CREATE	
学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
目標	多種多様な職業を知る	各職業への理解を深める	現在の自分と卒業後の自分について考える	興味関心のある学問分野と卒業後の進路を関連させる	2年後の大学入試を意識して第一志望校を確定する	高みを目指し初志を貫く
データに基づく指導	学力推移調査 → 結果分析・面談 → 教科会で検討・教科指導に反映			模試 → 結果分析・面談、ケース会議 → 教科会で検討・教科指導に反映		
豊富な講習	夏季講習 全学年実施 (R7) 181講座・延べ2806人受講 冬季講習 全学年実施 (R7) 48講座・延べ601人受講 春季講習 全学年実施 (R7) 67講座・延べ738人受講 ※ その他、朝補習・朝講習、放課後講習、6年生対象特別講座等学期中に実施				一橋生や学芸生などのチューターのある自習室の設置 (平日19時、土曜・長期休業中16時45分まで)	

特徴的な進路イベント

職業体験

本校では、2年生で行う「職業体験」を、単なる社会見学ではなく1年間を通して深める学びとして位置づけています。立川市内の企業と連携し、実際の仕事を体験することで、生徒は社会の仕組みや働く意義を実感します。さらに、多くの受け入れ企業は地域提案型探究でも協働するパートナーです。そのため、職業体験で得た学びを探究活動へとつなげ、より深い課題発見・提案につなげることができます。

職業体験で学んだ内容を生かして探究活動を進めた結果、生徒が提案した新しいお菓子が実際に商品化され、市内店舗で販売されました。自分のアイデアが社会に形となって現れる経験は、生徒の大きな自信につながっています。

講習

長期休業中には基礎から発展まで幅広く対応した講習を実施し、学力の定着と伸長を図っています。学びの視野を広げる取り組みとして、2025年は東京証券取引所の見学などのフィールドワークを行い、社会の仕組みに触れる学びを深めました。探究活動では生成AIを活用し、情報整理やアイデアづくりに取り組むことで、表現の幅を広げる講習を行っています。本校独自のプログラムである「English Summer Seminar」では、4日間のオールイングリッシュプログラムを実施し、楽しみながら英語力と国際感覚をさらに高めます。



高松商店街と作成したボールフラッグ



【2年生】職業体験



卒業生講話



【ワークショップ】
いろいろな社長が会いに来る



【夏季講習】
生成AI



【夏季講習】
地理フィールドワーク

進路状況は
こちら！





立国のリベラルアーツの核となる5教科の特色を紹介します。



国語

Japanese

国語科は、文学作品や評論などを幅広く読むことで、読解法や歴史や文化に対する幅広い知的関心の育成を図っています。授業では、論理的なつながりや主張と根拠を正確に捉えながら読んだり、登場人物の心情を捉えたりすることに加え、グループで学習したことやそこから考えた自身の考えなどをスピーチすることでインプットとアウトプットをバランスよく取り入れた学習を行っています。また、前期課程から百人一首大会等の体験活動や座学で古典の内容の先取りをすることで後期課程になっても学習に躓かないようにしています。中高一貫教育校スピーチ大会の出場、電子書籍会社と連携した学習、作文コンクール等の応募、長期休業中の文学散歩など様々なところで生徒の皆さんには活躍できる場があります。そんな学ぶ環境の整った立国で充実した学びを共にしていきましょう！

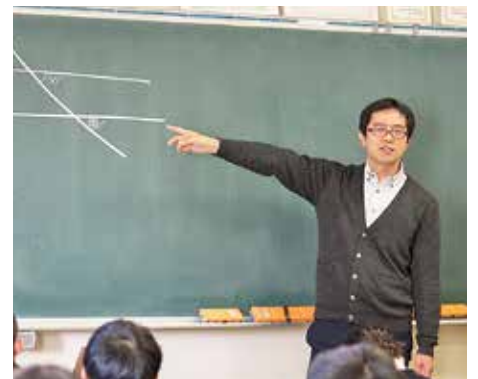


数学

Math

6年間を通じて、数学を学習することで、論理的に物事を考え問題を解決する力を養い、社会で起こるいろいろな問題に対応し、考察することで、自らの考えで判断し、解決する能力を身につけることを目標としています。

授業では、講義に加えて、公式や定理を身につけ、基礎的な演習を行うことで使いこなし、様々な問題に主体的に取り組み、深く考え、記述できる表現力を養います。中高一貫教育の特性を生かし、前期課程のうちに後期課程で学ぶ内容も発展的に学び、一人一人の論理的思考力を高めめます。生徒の状況に合わせて習熟度別少人数クラス編成により、きめ細かい指導を行い、基礎の確実な定着と応用力向上を図ります。数学は数楽である。立川国際で共に数学の世界を楽しみましょう。



- 数学と外国語（英語）では、習熟度別少人数クラス編成によりきめ細かい指導を受けられます。
- 様々な授業で、ペアワークやグループワークを通して意見交換が活発に行われています。
- 漢字検定やビブリオバトルも実施します。



英語

English

英語での実践的なコミュニケーション能力の伸長を図り、実用的な英語力を身に付けます。外国人指導者とのチームティーチングは一般的な公立学校のカリキュラムより倍以上多くあり、卒業時までには英語検定準1級取得を目指した指導を行います。1年生から週5回の英語授業が行われ、たくさん英語に触れることで自然と英語が身につきます。前期生は、毎年の英語発表会でスピーチをし、発信力やプレゼンテーション能力を養います。また、3年生では、文化祭での英語劇を通して表現力も身に付けます。後期課程では、5年生で週1回のオンライン英会話をし、英語での実践的なコミュニケーション力を養います。夏季講習では、外国人指導者による作文やリスニングの授業など、個別のニーズに応じた講座を開講し、生徒の学びをサポートします。立川国際で実践的な英語力を養いたい意欲的な生徒を期待しています。



社会

Social studies

地歴公民科は、国際社会で活躍するための力の育成に向け、多面的・多角的な学びや体験的な学びの充実を図っています。前期課程では、地理・歴史・公民それぞれの分野について、体験的な学びを通し、基礎的な知識を養います。またグループ学習などを通し、多面的・多角的に考察できる力の育成を図ります。後期課程では、前期課程で身に付けた知識・能力をより一層深めていきます。そして本校では5年生までは文系・理系関係なく、歴史・地理・公民を学ぶカリキュラムとなっています。これらを通し、国際社会で様々な背景をもった人々と協働して活躍できる素養を養っています。また他教科との連携した学び、発表・レポート作成、東京証券取引場、裁判所、私企業の見学など、体験的に学べる取り組みを行っています。是非とも立川国際で、一緒に学びましょう！



理科

Science

皆さんは、どのような自然観を育てていますか？理科は、自然科学、サイエンスという学問の基礎を学ぶ教科です。さまざまな自然現象を観察することから始まり、そのしくみを理解し、その背後にある法則を探究することが自然科学の目的です。われわれ人間は、知的好奇心を根拠とした探究心によって、自然への知識と理解を共有し、自然観を育ててきたと言えます。それらを応用して人々の生活を豊かにする科学技術、テクノロジーが次々に生み出されてきました。現代文明を支える基盤には自然科学の学びがあり、未来を拓く源泉でもあります。本校の理科は、皆さんの知的好奇心を育てるために、体験的で協同的な学びを重視します。本物を観察し、仲間との対話を重ね、探究力を向上させ、豊かな感性と確かな知性を涵養していきます。





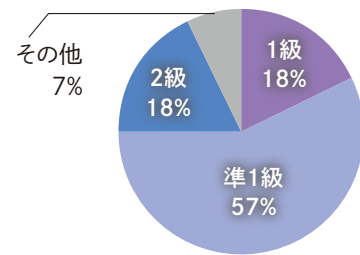
特色のある授業



γクラス

γクラスとは、帰国子女生徒など英語力が高い生徒を対象に、よりアカデミックな英語力を伸ばすための授業です。ネイティブ教員によるオールイングリッシュ授業を受けることで、日本にいながら現在の英会話力を維持・向上させるだけでなく、英語で学ぶ力を育て、将来の大学進学につながる高度な学習スキルを身につけることができます。

英検取得率（R7）



ICT活用

立川国際中等教育学校では、デジタルの利活用を軸に、学びの質を高める取り組みをしています。国のGIGAスクール構想により、中学校段階から生徒一人1台の端末環境が整備されました。高等学校段階では、CYOD（Choose Your Own Device）端末として、一人1台端末が整備されています。これにより、視覚的にわかりやすい教材提示や動画学習が可能となり、生徒は自分のペースで学習を進められるようになっていきます。

具体的な活用として、「GE-NET Premier20」指定校としてのAIを活用した授業を実践しています。また探究発表やグループ討論では、ラーニング・コ

モンズ（図書室）・視聴覚ホールを活用しています。またオンライン思考ツールを導入し、個別最適化された学びや協働的な学びにも取り組んでいます。また2025年度には都立学校独自の生成AI「都立AI」が導入され、志望理由書の構成支援や動画・ポスター制作のアイデア出し、画像生成を通じた表現活動も可能となり、生徒の創造性育成に取り組んでいます。さらに、本校ではオンライン英会話などを通じた異文化理解にも取り組んでいます。

デジタルとAIの活用を通し、予測困難な時代に生きる彼らが世界のリーダーになれるように支援をしています。

国際性と努力が育つ場所

私は英語を学びたい気持ちが強かったため、その環境が整っている立川国際への入学を決意しました。海外経験のあるクラスメイトがいたり、英語の授業が週に5時間もあったりと、英語に触れあう機会がとても多く、入学して本当に良かったと感じています。

英語以外にも仲間と勉強で高めあえる環境があります。例えば、定期テストの前には教室に残って静かに勉強できたり、ラーニングコモンズで友達と相談しながら勉強したりと、その都度あった方法で勉強することができます。また、立川国際は個性あふれる先生ばかりで、授業が本当におもしろいです。質問しやすい環境も整っていて、わかりやすく丁寧に教えてもらうことができます。部活動の仲間とも切磋琢磨しながら毎日練習に励んでいます。私は女子バスケットボール部に入っていて、中学から始めた初心者ですが、先輩やコーチが一から丁寧に教えてくれるので、不安がなく練習することができます。毎日の練習はハードで疲れますが、とても楽しいです。勉強も部活も同じように頑張りたい気持ちがあるので、部活で疲れた時も、毎日机に向かい計画的に学習を進めています。将来は、立国の6年間で学んだことを生かし、いろいろな国や文化の人と関わる仕事がしたいと考えています。



前期生
長野 鈴

Interview

国際をモットーに

私はタイからの帰国子女で、立川国際の国際的な教育カリキュラムに魅力を感じたため立川国際を志望しました。英語の授業で洋書を読むことや留学生の受け入れ等の国際的なイベントが、帰国子女の私でも日本の学校で活躍できると思わせてくれました。帰国子女の生徒だけでなく、皆が互いの人生背景を尊重し、受け入れてくれる環境で勉学に励めるのは凄く恵まれていると日々感じます。立川国際では先取り学習を授業内で行うため、初めはハイレベルな授業に、ついていくのでも精一杯でした。しかし、先輩や先生方の手厚いサポートによって今は学校生活以外にも、生徒会活動や探究活動に注力することができます。生徒会は業務が多く、公約についての話し合いが難航したりと大変なことが多いですが、それでも学校行事の運営が無事終わったときの達成感や他の生徒に応援の声をかけてもらったときにやりがいを感じます。探究活動については、癌と精神疾患を合併している人、日常生活で精神的に苦しんでいる人をペルソナとし、メンタルケアを実施するアプリ開発に励んでいます。私は将来立川国際で培った経験や力を活かし、国際的な医師として世界の医療格差の是正に貢献したいと考えています。



後期生
矢田 杏里

Interview

1年生の時間割例

	月	火	水	木	金
1	数学	歴史	理科	数学	理科
2	体育	音楽	数学	数学	体育
3	国語	理科	英語	英語	家庭
4	国語	体育	英語	国語	英語
5	歴史	地理	—	理科	技術
6	英語	道徳	—	芸術	国語
7	美術	学活	—	総合	地理

立川国際は、週に5回英語を学ぶことができます。

前期生は水曜日の午後に授業がありません。勉強したことの復習や興味・関心もったことに取り組むことができます。

給食は出来立てを食べることができます。後期生になると、お弁当になります。購買のパンや軽食を購入することができます。



教育課程

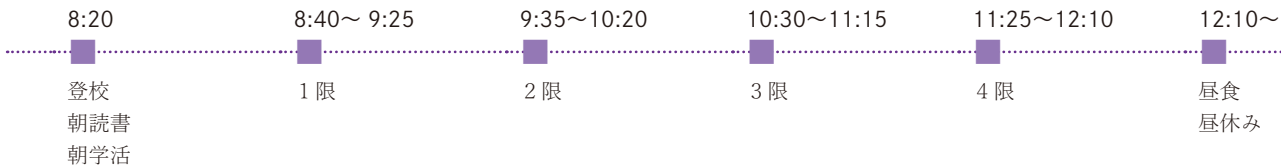
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
1年	国語 (140)		社会 (140)			数学 (140)			理科 (140)			音楽 (45)	美術 (45)	体育 (105)		技術・家庭 (70)		英語 (175)			探究総合的時 (50)		道徳 (35)		学活 (35)												
2年	国語 (140)		社会 (140)			数学 (140)			理科 (140)			音楽 (35)	美術 (35)	体育 (105)		技術・家庭 (70)		英語 (175)			探究総合的時 (70)		道徳 (35)		学活 (35)												
3年	国語 (140)		社会 (140)			数学 (140)			理科 (140)			音楽 (35)	美術 (35)	体育 (105)		技術・家庭 (35)		英語 (210)			探究総合的時 (70)		道徳 (35)		学活 (35)												
4年	現代の国語 (2)	言語文化 (3)		地理総合 (2)		歴史総合 (2)		数学Ⅰ (3)		数学Ⅱ (1)	数学A (2)		化学基礎 (2)		生物基礎 (3)		体育 (2)		保健 (1)	芸術Ⅰ (2)		英語コミュニケーションⅠ (3)		論理・表現Ⅰ (2)		情報Ⅰ (2)		探究総合的時 (1)	LHR (1)	【自由選択】第二外国語 (2)							
5年	論理国語 (2)		古典探究 (3)		必修選択 (3) 日本史探究 世界史探究		公共 (2)		数学Ⅱ (2)		数学Ⅲ (1)	数学B (2)		数学C (1)	物理基礎 (3)		化学 (2)		体育 (2)		保健 (1)	英語コミュニケーションⅡ (4)		論理・表現Ⅱ (2)		家庭基礎 (2)		探究総合的時 (1)	LHR (1)	【自由選択】海外大学進学対策講座 Academic English (2)							
6年	論理国語 (1)	文学国語 (2)		政治・経済 (2)		体育 (3)		英語コミュニケーションⅢ (4)		論理・表現Ⅲ (2)		【選択】(10~20) 国語表現演習 古典探究演習 地理探究 日本史探究 世界史探究 地理探究演習 公共演習 政治・経済演習 数学α演習 数学β演習 数学Ⅲ 数学γ演習 物理 生物 化学基礎演習 化学発展演習 生物基礎演習 体育演習 英語コミュⅠ演習 情報探究 海外大学進学対策講座 その他																		探究総合的時 (1)	LHR (1)						

※第4学年の「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は年間合計「4単位」になります。
 ※第5学年の「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」は年間合計「3単位」になります。
 ※第5学年の「数学B」「数学C」は年間合計「3単位」になります。

※第4学年の「第二外国語」は、フランス語、ドイツ語、中国語から選択します。
 ※教育課程は変更になる場合があります。



スクールライフ



登校は8:20まで！
JR立川駅から徒歩20分と少し遠いですが、友達と待ち合わせをすればあっという間。



朝読書・朝学活 8:20
文庫や洋書などみんな読書に没頭します。



ペア・ワークやグループ・ワークで協働的な学びに取り組みます。

タブレットを活用して学びます！

4月
April

始業式・入学式
全国学力・学習状況調査学力推移調査 (1~3年)
セーフティ教室

5月
May

生徒総会
中間考査
体育祭

6月
June

英語合宿 (2年)
生徒会選挙
美術鑑賞教室 (5・6年)

7月
July

期末考査
オーストラリア・スタディツアー (5年)
三者面談
夏季講習

8月
August

イングリッシュ・サマー・セミナー (1~2年)
夏季講習
始業式

9月
September

文化祭「紫翠祭」英語劇 (3年)
進路講演会 (4・5年)
共通テスト説明会 (6年)
学力推移調査 (1~3年)





昼食 12:10~

前期生は給食。
 自校で調理員さんが作る
 おいしい給食が食べられ
 ます。
 生徒によるリクエストメ
 ニューや、ジュースが選
 べるメニューもあります。



ラーニング・コモンズで
 自習！
 自習室では卒業した先輩
 がチューターとして勉強
 を教えてくれて、進路の
 相談にのってくれます。

4年生で自由選択科目「第二外国語」を選択すると、
 週に1回、8・9時間目に学びます。

J'apprends le français.

Ich lerne Deutsch.

我, 学习, 汉语。



また明日！

部活動にも取り組みます。

10月
October

- 中間考査
- 国内研修旅行
(京都奈良・3年)
- TGG (1年)
- 職場体験 (2年)
- 進路講演会 (6年)

11月
November

- 道徳授業地区公開講座
- 地域連携防災訓練 (4年)
- TEAP (5年)
- 英語発表会 (1~3年)
- 校外学習 (2年)

12月
December

- 期末考査
- 共通テストリハーサル (6年)
- 進路講演会 (3~5年)
- ケンブリッジ英語検定
(1~4年)
- 冬季講習

1月
January

- 始業式
- 大学入学共通テスト模試
(5年)
- 学力推移調査 (3年)

2月
February

- 合唱祭
- 校外学習 (1年)

3月
March

- 学年末考査
- 卒業式
- 修了式
- 春季講習







部活動紹介

部活動と授業の両輪でよりレベルの高い探求を目指す

文化部 10団体



科学研究



自然探究



茶道



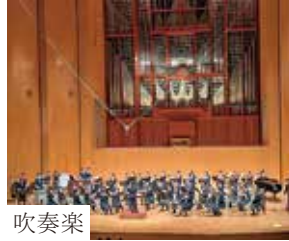
家庭科



放送



英語



吹奏楽



美術



合唱



演劇

前後期生で協力して活動する、中等教育学校ならではの活動形態です。
後期生のもと、前期生の段階からレベルの高い活動に取り組むことができます。

運動部 12団体



弓道 (後期のみ)



男子バレーボール



軟式野球



女子バスケットボール



男子バスケットボール



剣道



ラクロス



硬式テニス



陸上競技



サッカー



バドミントン



卓球

東京都教育支援機構 (TEPRO) と連携し、きめ細かな指導を行っています。2つのアリーナやグラウンド、バスケットボールコート、テニスコート、トレーニングルームなどの充実した施設を使用できます。

詳細はこちら▶





未来の立国生へ

卒業生からのメッセージ



第13期生
長谷川 藍理

一橋大学 商学部 進学

立川国際での6年間、私の学校生活の中心にあったのは大好きなラクロスでした。6学年全員が同じグラウンドで練習するという、他の高校では経験できない環境の中で、同期・先輩・後輩、そして先生など多くの人に支えられ、最終的にはキャプテンとしてチームを引っ張るという経験もすることができました。進路について、当初明確な目標はありませんでしたが、将来の選択肢が増えるようレベルの高い大学を目指そうと考えていました。その中で3年生の時に受けた公民の授業で経済の分野に興味を持ち、父の助言のもとでこの志望校に固めました。それ以降は「文武両道」をモットーに部活と勉学の両立に励んできました。

これは、前期生のころの部活の顧問であった先生が私たちに日々投げかけてくださった言葉であり、部活と勉強のどちらも絶対に疎かにしないという強い気持ちを私に与えてくれました。そして文武両道は私のプライドとなり、受験期においてもそれを曲げることなく、努力を続けることができました。立川国際には、支えてくれる仲間や先生がいます。受験勉強は大変だと思いますが、一つひとつの努力を大切にしてください。



Message



第12期生
川合 風花

お茶の水女子大学
理学部数学科 在学

立川国際での6年間を通して、帰国子女の人たちと多く触れ合い、授業内で実践的な英語のコミュニケーションを経験したことで、英語への関心が高まりました。その影響もあり、大学では海外からの留学生のためのイベント企画を行ったり、留学生のパディとしてボランティアに参加したりと、自分から海外の学生と交流する機会を積極的に得ることができています。

積み重ねのおかげで定期テストでも成果を出すことができ、6年生になって本格的に受験勉強が始まったときも、焦ることなく第一志望に向けて努力を続けられました。

学校生活では、担任の先生や部活の顧問の先生、進路指導の先生など、多くの先生方に支えられてきましたが、特にお世話になったのが数学科の先生方です。どの教科の先生も興味深い授業をしてくださっていましたが、数学科の先生方は特に数学を心から楽しんでおられ、授業を通してその面白さが伝わってきました。その影響で、私は大学で数学を学びたいと思うほど数学が大好きになり、将来は立国の数学科の先生方のようになりたいと考え、現在は教員になるための勉強もしています。

このように行動できるようになったのは、国際教育の環境だけでなく、立国には向上心のある仲間が多かったことも大きな理由です。周囲に挑戦を続ける友人が多かったからこそ、私自身も「自分も何かに挑戦してみよう」という前向きな気持ちになることができました。

良い仲間と良い先生方に恵まれたからこそ、今の私があるのだと強く感じています。

また、私は負けず嫌いな性格で、小テストや定期テストで友だちに負けることが悔しかったため、通学時間や休み時間を使って毎日コツコツと勉強していました。ラクロス部と勉強の両立は大変でしたが、その

Message



第8期生
前田 藍花

東京大学大学院
法学政治学研究所 在学

法科大学院では、司法試験合格という目標に向かって勉強を続けていますが、それだけでなく、「法とは何か」「社会の中で法律はどうあるべきか」といったことも考えながら学んでいます。例えば「法哲学」という授業では、女性専用車両は法律上どのように考えられるのかといった身近なテーマを取り上げ、学生同士で意見を出し合いながら理解を深めました。大学の法学部では講義を聞く授業が中心でしたが、法科大学院では先生や学生同士が積極的に意見を交わす対話型の授業が多いことが特徴です。

メンターシップを行う機会が多く、自分の考えを言葉にして伝える力や、他者の意見を受け止めて更に考えを深める姿勢を身につけることができました。また、英語教育に力を入れている環境で学んだことも、現在の学びにつながっています。法科大学院では海外の論文や判例など英語の資料を読むこともあり、立国時代に基礎から英語に取り組んだ経験が今も支えになっています。立国での学びは、その後の進学や将来につながる大切な土台になっていると感じています。

このような環境の中で、立国時代の経験が大いに役立っていると感じています。立国では授業内でディスカッションやプレゼ

Message

卒業生の声を
紹介しています





都立立川国際中等教育学校 校長
横田 雅博

これからの社会は、国際化の進展や科学技術の急速な発達により、価値観や社会構造が大きく変化し続けていきます。そのような時代を生きていくみなさんには、国や文化、立場の違いを越えて多様な人々と協働し、答えのない課題に主体的に向き合いながら、未来を切り拓いていく力を身に付けてほしいと願っています。分断や対立が生まれやすい現代だからこそ、自他を尊重し、対話を通してよりよい解を導く姿勢と、国際社会を俯瞰する広い視野が、これまで以上に求められています。

本校の教育目標は、「国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する」です。ここで目指すリーダーとは、声の大きさで人を動かす存在ではありません。確かな学力を基盤に、物事の本質を見極め、多様な意見に耳を傾け、公正で責任ある判断を行い、その判断を行動によって示し、周囲とともに前進できる人です。「学業を修める」とは、学習と探究を通して、論理的・批判的に考え、課題を発見し、解決策を構想する力を育成することです。「人格を陶冶する」とは、多様な価値観や立場を理解し、誠実に向き合い、社会全体の利益を見据えて判断し行動できるよう、心を鍛え磨くことを意味します。

立川国際中等教育学校での6年間は、仲間とともに学び合い、世界とつながり、多様性の中で自らの強みを発揮しながら、社会に貢献する力を育む時間です。また、英語を「学ぶ」だけでなく、英語で考え、語り、世界に向けて発信する学びを日常とする学校です。さらに、探究的な学習や国際交流、日々の対話に満ちた学校生活を通して、多様な価値観に触れながら、自ら問いを立て、考え、行動する力を育てていきます。

立川国際中等教育学校での全ての学びと経験は、みなさん一人一人の可能性を広げ、国際社会において信頼され、貢献できるリーダーとして歩み出す確かな礎となります。そして、本校で培った力は、やがて世界の課題に挑み、未来を動かす“あなた自身の言葉と行動”になります。

立川国際の校章の由来



地球を、鳥の羽にかたどった月桂樹で囲み、学校のイニシャルである「T」（立川）「K」（国際）を配しました。教育目標に基づき、国際社会に貢献できるリーダーとして、世界に羽ばたくことを期したものです。



制服の紹介

- スラックス・スカート、ネクタイ・リボンは選べます。
- 夏服は、本校指定の半袖ポロシャツ（白・紺）もあります。



前期生



夏服 半袖ポロシャツ



後期生

■ Q & A

Q. 初年度費用を教えてください。

A. 以下の通りです。(参考 令和7年度)

入学金・授業料	なし
学年積立金	約178,000円
給食費	東京都からの補助金対応
PTA会費(任意)	2,500円
その他制服等	約84,000円

Q. 授業公開日はいつですか？

A. 授業公開日は10月3日(土)・10月24日(土)・令和9年2月13日(土)の予定です。文化祭は9月5日(土)・6日(日)で一般公開をしております。学校見学会にて、体験授業も実施しています。お越しになる場合は、事前にホームページで詳細をご確認ください。 [詳細はこちら▶](#)



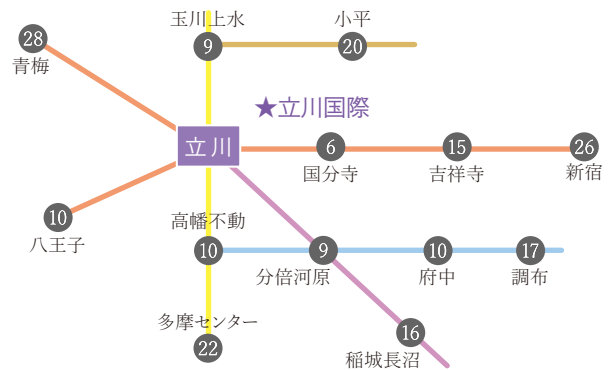
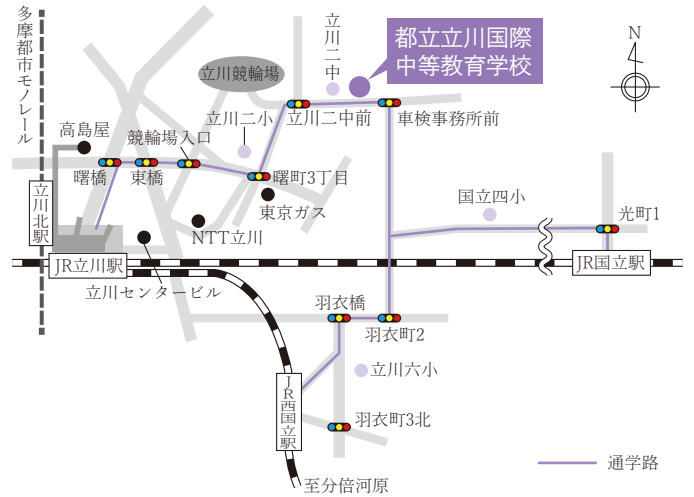
Q. 出願書類の配布はいつですか？

A. 「令和9年度募集案内」(願書・報告書など)の出願書類は令和8年11月下旬ごろに本校で配布予定となっております。詳細はホームページをご覧ください。

なお、海外帰国・在京外国人生徒募集におきましては、事前相談が必須となります。事前相談の予約は電話予約のみとなっております。具体的な日程は6月以降にホームページにて公表されます。必ずご確認ください。



■ アクセス



※JR立川駅北口・多摩都市モノレール立川北駅から徒歩20分
または、12番乗場 立川バス「北町」行き
「立川国際中等教育学校」下車(所要時間約12分)

■ 募集要項 (参考) 令和7年度に実施した検査に関する概要です。

詳しくは本校ホームページ、「トップ>入試案内>適性検査(一般枠)」または「トップ>入試案内>適性検査(帰国在京枠)」をご覧ください。

	一般枠募集	海外帰国・在京外国人生徒募集
募集人員	4学級152人(海外帰国・在京外国人生徒枠28人を含む。)	
出願受付	インターネットを活用した出願を行い、かつその他出願に要する書類については、特定記録郵便(下記書類提出期間に、立川郵便局に必着(郵便局留))により郵送したものを受け付ける。 〔入力期間〕令和7年12月18日(木)から 令和8年1月16日(金)午後5時まで 〔書類提出期間〕令和8年1月9日(金)から 1月16日(金)まで	令和8年1月12日(月)午前9時から午後3時まで 令和8年1月13日(火)午前9時から正午まで 本校に持参したものを受け付ける。
応募資格	令和8年3月に学校教育法に定める小学校又はこれに準ずる学校を卒業する見込みの者	必ず事前相談が必要です。
検査日	令和8年2月3日(火)	令和8年1月23日(金)
検査内容	適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱ(各45分)	日本語又は英語による作文及び面接(パーソナルプレゼンテーションを含む)
発表日	令和8年2月9日(月)午前9時 校内の掲示及び合否照会サイト上で発表	令和8年1月29日(木) 午前9時 校内に掲示及び本校のホームページに掲載

※海外帰国・在京外国人生徒枠で受検を検討される場合は、夏季休業中または9月~12月までの本校の指定する日に必ず事前相談をお受けください。
具体的な日程は、ホームページをご覧ください。事前相談の予約は電話予約のみとなっております。(電話：042-524-3903、受付時間9時から16時まで)
※一般枠募集、海外帰国・在京外国人生徒募集の検査の過去の問題(3年分)は、本校ホームページに掲載しています。



東京都立立川国際中等教育学校

〒190-0012 東京都立川市曙町3-29-37

T E L : 042 (524) 3903

U R L : <https://www.metro.ed.jp/tachikawa-s/>

令和8年5月

編集・発行 東京都立立川国際中等教育学校

